

4月8日(木)、2021年度入学式が挙行されました。中学校67名、高校221名、計288名が入学しました。新型コロナウイルス感染症対策から保護者の出席は1名とし、座席も間隔を置いて配置するなどの対応がなされました。

新たな環境のもと、新たな学びが始まります。豊かな学校生活となるよう、共に頑張っていきましょう。「AIM HIGH」(高みを目指す)を胸に秘めて。(以下は、式辞全文)



## 「協創」をめざして

若葉が萌え、花が咲き、鳥たちが歌い舞う。自然界の生命が輝く季節の到来となりました。今日のこの良き日、入学式を挙行できましたことは、この上ない喜びでございます。

ただいま中学校67名、高等学校221名の入学を許可いたしました。新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

保護者のみなさま、高いところからではございますが、ご子女のご入学、おめでとうございます。いよいよ始まる新しい生活に向けて、我が子へ心からのエールを送っておられることと存じます。ご来賓のみなさま、本日はご多用の中をご臨席いただきまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、本校は、一昨年(2019年)の校名を改称し、男女共学にシフトして3年目を迎えることになりました。「鈴峯」から「協創」へ、変わらぬもの、変えなくてはならないものとさまざまに取り組んできました。その中の一つに、新校歌の制作がありました。曲は鈴峯のものを受け継ぎ、歌詞は当時高校3年生の植野美羽さんと植野さんのお母様に提案していただきました。その2番は、まさしく本校の想いが込められています。

「互いに友を大切に 守り讃えて高め合う」

家族と同様、友だちの存在はありがたきものです。友を大切に、切磋琢磨しながら高め合っていきましょう。

「感謝と恩を胸に抱き」

本校の校訓(建学の精神)は「報恩感謝・実践」です。天地万物に自分は生かされて生きている、愛されて生きているという感謝の想いを

忘れないようにしましょう。

「自分を信じて歩みだす」

時に行き詰まり、つまづくこともあります。しかし、その時にこそ自分の可能性を信じて一歩、また一歩と歩みだしてみましよう。

「たゆまぬ力育みて」

自分を信じて歩みだすには、やり抜く力、不断の力が必要です。日々、その力を備え、鍛えていきましょう。

「未来協えて創りゆく」

過去は変えられませんが、未来は変えられます。グローバル・イノベーション・リーダー、地球的な視野で考え、地域社会と協創する人として、多くの人とつながり、想いを共にする仲間と未来を切り開いていきましょう。

建学の精神と教育目標に基づいて、「協創」ということばを捉えている、メッセージ性のある歌詞です。昨年(2020年)から続くコロナ禍の現状にあり、途中、思い通り計画通りにいかないこともあり得るでしょう。だからと言って悲観的にならず、知恵を絞り、工夫を凝らして相応しい方向を見出していましよう。この校歌、歌詞が示すように。

終わりにあたり、保護者のみなさま、ご子女の成長は家庭教育と学校教育の両輪があってこそです。ご子女の成長を支えるため、ともに手を携えることができれば幸いです。

我々教職員は、「凡事徹底、進取果敢。」を行動指針として、ご子女の成長のために万全を尽くすことをお約束します。以上を誓い、式辞といたします。

校長 白岩博明